

## 第 2 5 1 回 8 月 定 例 教 育 委 員 会 議 事 録

委 員 会 次 第

1. 開会宣言
2. 教育長あいさつ
3. 議事録の承認
4. 審議事項
5. 報告事項
6. その他
7. 閉会宣言

開 会 日 時

令和 4 年 8 月 2 6 日 ( 金 ) 午 後 3 時 0 0 分

会 場

安来庁舎 3 0 1 会 議 室

出席委員の氏名

教 育 長	秦 誠 司
委 員	小 村 修 司
委 員	加 藤 隆 志
委 員	寺 田 禎
委 員	平 野 千 恵

出席者の氏名

教 育 部 長	原 み ゆ き	全 議 題
教 育 総 務 課 長	遠 藤 浩 司	全 議 題
学 校 教 育 課 長	三 保 貴 資	全 議 題
給 食 教 育 課 長	石 原 秀 樹	全 議 題
文 化 財 課 長	金 山 尚 志	全 議 題
学 校 教 育 課 主 査	糸 賀 真 也	そ の 他
教 育 総 務 課 主 幹	青 戸 か お り	全 議 題

1. 開会宣言

午後 3 時 0 0 分 教育長が開会を宣言する。

2. 教育長あいさつ

(教育長)

若干暑さが和らいできたなという感じでありまして秋の気配を感じるようになりました。

学校関係は 8 月 25 日に 4 校それから本日 26 日に 9 校、29 日月曜日に 8 校、

30日に1校が2学期始業式を行うことにしております。ご承知のように新型コロナウイルスはオミクロン株 BA.5 に置き換わりが進みまして、感染者数は島根県、安来市とも激増している状況が続いています。

先ほどホームページで調べましたら安来市の累計の患者数が昨日現在3,852人ということで、松江市出雲市に続いて益田と安来が同じくらい、人口比からするとかなり高い数値かなと思います。夏休み中も感染の報告はいただいております。小中学生並びに職員も感染したという連絡がありました。児童クラブの方は休業中も関係なくずっと開設をいただいておりますけれども、やはり子ども達が集まって活動しますので、運営に大変ご苦心をいただきながら頑張ってお開所していただいたなという印象を持っているところでございます。

2学期がスタートして早々に、特に中学校では第1、2週目にかけて体育祭、そして中学校小学校とも修学旅行等が入ってまいります。子ども達が最も楽しみにしている行事でございますので、なんとか新型コロナウイルスの感染を予防しながら無事に実施できるようにしたいなと思っているところでございます。感染拡大防止と学びを止めないというところを軸にした学校運営をしていただくようお願いをしたところでございます。

ご覧になった方もあるかと思いますが、本日10時から県知事による記者会見がございまして、8月29日から9月11日までの約2週間、部活動の活動制限というのを県立高校に出したとのことでございます。市町村、中学校あるいはスポーツ少年団等の活動も、それに倣って制限の検討をお願いしたいというような要請がございました。その要請を受けまして、安来市では基本的には県の方針を準用しながら、大会参加の特例なども活用しつつ、活動の制限をするよう指示をしたところでございます。

併せて長期休業明けは児童生徒の自死も増加する傾向にあるということが過去の統計からもわかっています。子ども達をしっかりと見守る、変化を見逃さないというようなところも留意するところでございます。

また夏休み中ではございましたけれども、8月20日東京では、埼玉県戸田市の中学3年生の女生徒が、通りがかりの親子を刃物で刺すという事件が発生いたしましたし、お隣の市の小学校の教員が盗撮で再逮捕されるというような事案も発生しております。大変残念なことでございます。先ほど申しましたように、コロナ禍で感染が高止まりをしている中で、ただでさえ不安な心境の子ども達をしっかりと見守って、指導・支援ができるように、委員会といたしましても取り組んで参りたいと考えております。委員の皆様にも色々ご意見をいただきながら進めて参りますので、よろしくお願ひします。

#### 4. 審議事項

##### 1) 議第7号 市議会9月定例会議提出議案(予算)について

(教育部長) 資料1により説明

次の9月定例会議に上程予定の補正予算について、主なものを説明をさせていただきます。

3ページをお願いいたします。放課後児童健全育成事業でございます。市内17クラブございますけれども、そちらのクラブには委託料を支払い、運営を行っていただいております。委託料は国県の交付金に頼っております。その算定基準により支払を行っております。この度その交付金の基準額の引上げであったり、児童受入れの人数に変更等ございましたので、当初見込んでいた運営費が増額の見込みとなり、このたび増額の要求をするものでございます。それがまず一点ともう一つ、未確定ではございますけれども、能義地区において今後長期休業中のみ児童の預かりを行うという話も出ております。仮に開設した場合には、必要となる委託料が不足となると見込まれるため、今回併せて増額要求をするものでございます。基準額の引上げによる増額分は86万7千円、国、県、市で3分の1ずつの財源内訳になります。後段の長期休業一時預かり事業分については、事業費を総額200万円と見込んでおまして、これについては、県2分の1、市2分の1の財源内訳でございます。

続きまして4ページをお願いします。学校教育課の関連になりますけれども市内3小学校に配備しているスクールバスのうち、来年度、令和5年度に更新を計画していた比田小学校のスクールバスについて、一学期終了後に点検修理を行ったところ、駆動系の故障が判明いたしました。故障したバスは平成16年に購入したもので、老朽化し毎年の修繕により何とか運行を継続しておりましたけれども、今回の故障箇所は四駆のシャフト部で部品がなく、修理が困難なため、車両の更新を行い児童の登下校の通学手段を確保するものでございます。事業総額は1,400万円で、そのうち1,200万円は過疎債を予定しております。事業内容ですけれども、納期までに期間がかかりますので、それまでは代車借り上げによる運行を行いたいと思っております。事業費1,400万円のうち、事業費1,200万円は車両購入費、残り200万円は代車借り上げの用途としております。

続いては文化スポーツ振興課関連になりますけれども、安来運動公園野球場のバックスクリーン及びスコアボードの錆(さび)による腐食及びスタンド、コンクリート壁のクラックなどを解消するため、改修工事を実施したいと考えています。事業費は600万円で、全て一般財源を予定しています。以上補正予算の主なものを説明しました。よろしく申し上げます。

(委員)

スクールバスの納車の件ですが、大体業界でも納車まで1年が当たり前になっています。部品が入らないので各メーカーが揃って、1年先までお待ちください、というような通達も来ているのですが、令和5年3月というのは、確認された上ですか？

(教育部長)

確認は行っておりまして、今のところ3月に何とか、という状況です。

(委員)

業界に不正があったりとかで、現場では今年も既に2回くらい遅れています。あくまで予定であり、3月からさらに延長になる可能性があるということも承知しておかれた方がよいと思います。

(承認)

## 2) 議第8号 市議会9月定例会議提出議案(条例)について

(文化財課長) 資料2により説明

市議会9月定例会議に上程予定の安来市鉄の歴史博物館条例の一部を改正する条例制定についてご説明申し上げます。4月定例教育委員会において詳細な説明をさせていただいた金屋子神話民俗館の閉館に伴い、歴史博物館条例の改正をする条例を制定するものでございます。

金屋子神話民俗館は、入館者の減少、施設の老朽化が進んでいるとともに、令和元年に土砂災害警戒区域等に指定され、多くの人が入り出る公共施設として不適當な状況になりました。また安来市公共施設等総合管理計画におきまして、閉館に向けて検討する方針が示されている施設でありますことから、例年冬季休館となる令和4年11月30日をもって施設を閉館とし、関係条例を改正するものでございます。

改正内容はこの条例が和鋼博物館と金屋子神話民俗館の2館についての設置条例であることから、金屋子神話民俗館に関する規定を削除するとともに、条例名を安来市和鋼博物館条例とするものでございます。なお主な展示物につきましては、日本遺産「出雲の國たたら風土記」のゲートウェイ施設である和鋼博物館で展示することにより、通年で見学できるようにするとともに、構成文化財である金屋子神社や西比田の町並みへ人の流れを作っていきたいと考えております。

(委員)

金屋子神話民俗館は、今は普通に入館できますか？災害警戒区域の影響、支障等はありませんか。

(文化財課長)

今は見に行くことができます。警戒区域になってはいますけれど、実際に災

害が起きたわけではありませんので。是非ご覧ください。

(教育長)

閉館後の跡地としてはどのような活用を？

(文化財課長)

閉館後の施設につきましては、文化財の収蔵庫として引き続き活用するよう  
な形にしていきたいと考えております。

(教育長)

あとわずかの開設期間でございますけれども、もしお時間があれば見学を  
していただければと思います。

(承認)

### 3) 議第9号 令和4年度工事予定について

(文化財課長) 資料3により説明

令和4年度工事予定については3月の定例教育委員会において上程し、すで  
にご承認をいただいておりますが、その時点で上程できなかった繰越し事業  
1件について今回上程するものでございます。

山中御殿地区・千畳平地区法面復旧工事は令和3年7月から8月に山陰地方  
を襲った7月豪雨台風9号により発生した遺構の崩落等について災害復旧工事  
を行うものでございます。千畳平北石垣復旧工事は、石垣上部の土砂崩落箇所  
について法面整形及び真砂土吹付工を行います。山中御殿地区法面復旧工事は  
大土塁裾部の土砂崩落箇所について土砂撤去工事に続きジオファイバー工を  
行います。以上説明といたします。よろしく申し上げます。

(教育長)

工事予定は？

(文化財課長)

今調整をしているところですが、12月には終わるような形で進めよう  
と考えております。

(承認)

## 5. 報告事項

### 1) 報第11号 放課後児童クラブにおける運営事務の見直しについて

令和5年度より、公設型クラブにおいて運営事務を見直し、入所決定及び利  
用料徴収事務をクラブから市へ移管するとともに、利用料の統一を図ること  
について説明。

### 2) 報第12号 第2回安来市小中学校適正配置審議会について

第2回審議会では、令和の時代に生きる子どもの「育ち」「学び」の視点に

ついて説明し、検討において一番大事にすべき教育の分野を掘り下げ、それにふさわしい適正規模配置について考えていただいたことを報告。

3) 報第13号 令和4年度全国学力・学習状況調査・安来市の結果について  
(委員)

個人的な学力・学習状況調査の結果はそれぞれの保護者も見ることができま  
すか。

(学校教育課長)

個人への返し、資料形式にした結果の持ち帰りがありますので家庭でも見る  
ことができます。

(委員)

それに対して保護者から感想等をもらうようなことは何かありますか。

(学校教育課長)

正確には把握してはおりませんが、対面でというのはなかなか難しい  
でしょうか、子どもさんを通じて返却とか、持ち帰ってもらうのが一般的では  
ないかなど。これを基にしながら、本来であれば学校と家庭の中でもう少しコ  
ミュニケーションがあるといいかなど思うのですが、時期であるとか、或いは  
面談のタイミングといったところで、難しい部分があるのではないかと  
思っています。

(委員)

通常のテストの方に目が行きがちで、全国学力調査の方はさらりと参考程度  
にしか見ていない保護者もあるかもしれませんが、やはりこちらも重要という  
か、学校内でのテストもですが、全国学力調査でも点数が取れていたら、一定  
の学力がついているのだなという判断になると思います。何かもっと、学校と  
家庭とでやりとりがあればあるといいのにと以前から思っていました。

(教育長)

4月にテストを実施して、その結果返しは8月末くらいです。学校でやるテ  
スト等は、例えば期末の参観日とか面談とかでお返ししたりすることは可能な  
んですけど、結構期間があいてしまいますので、どうしても子どもさん経由で  
のお知らせということになるのが実態だと思われま

(委員)

中学生くらいになるともう進路のことがあるので、この結果を判断材料にし  
て進学先を考えたりしていたように思います。けれど、小学生の間は、よかつ  
たね、悪かったねとか、そのぐらいでさらりと見て終わってしまったりするの  
では。けれども、安来市の学力を上げていこうとするのならば、もっとやりと  
りをする、そういった機会は多少あっていいのかなど思います。

(教育長)

この調査は、教員が指導したことに対して、どのくらい子ども達に力が定着  
しているか、その強みと弱みを明らかにして、指導方法なり指導力を高めてい

きましょうというところにねらいがございます。子どもさん一人一人にとっては、自分はこの分野は得意で力がついているのだけれども、ここのところはまだ少し頑張らないといけないなと受け止めてもらうための指導をする材料、というような趣旨でやっています。その辺りのところをもう少し、お子さんの方にもしっかりと伝え、またご家庭で今後どうしていったらいいかなど考えるやりとりのきっかけとして活用できたらよい、というご意見だと伺いました。自分が現役の頃は、学校状況についてはお便り等で、例えば数学が全国平均と比べるとどうだった、といった形でお知らせをするぐらいでしたが、家庭との連携の一つの材料として、もう一度意識していくっていうのは、なるほどそうかという気持ちで聞かせていただきました。ありがとうございます。

(委員)

小6は平均を下回っていますよね。一方、中3は比較的良い成績というのは、たまたまその年はこういう結果であったのか、それとも、小学校は毎年総じて低いけれど、中学校の先生方が頑張っここまで押し上げているのか、中3は毎年こういう感じですか？

(学校教育課長)

今年は去年より良くなっていますね。

(委員)

中学で頑張っ伸びるという傾向が固定化しているというようなことではなくて、年による波があるということですね。

いつもこういう調査があると、家庭学習の時間が安来市にしても島根県にしても少ないですよ、それは明らかになっている。最終的に家庭でしか目が行き届かないので、その辺りの意識を持って、家庭で取り組んでもらえるような手立てを考えないと。今年も学習時間は1時間未満だったとか、ただその結果だけを受けて、なかなか改善していかないというのが前々からの課題になっています。おそらくメディアに触れる時間は長いけれど、勉強はあまりしないとか家庭での過ごし方に問題があるのではないかと思うのですが、学校ごとではなく、全体的に意識付けができるような方策に本気で取り組まないと、と毎年アンケートを見て感じます。

(教育長)

ありがとうございます。一つ実験的、試行的に今の学力育成プロジェクトの中で、三中、荒島小でクロームブックの持ち帰りをしながら取り組んでいるところですよ。

(学校教育課長)

学習履歴が残るので、自分はどこが理解できているか、できていないかということがわかります。AIドリルを使うと、苦手なところを集中的に、反復して勉強して、知識を入れていく、定着させていくということはやりやすいです。学力差があるにもかかわらず一律に宿題を出されて、その課題をこなさなければ

ばならないとにというのは、子ども達にとっては負担になりますし、学習に対して否定的になることも否めない、そこでこの一つ実験的な形の取り組みの中で、子ども達が学びに向かう姿がどう変容していくのか、テストの点だけではなくて、子ども達の変容から我々も政策、授業を考えていきたいというふうに、これはおそらく県も同様のことをねらいとしているのではないかなと思っています。

(委員)

持ち帰りは、学力育成プロジェクトの荒島小、三中だけがしているのですか。

(学校教育課長)

三中の1年生と荒島小の4年生だけです。

(委員)

プロジェクトの指定校以外の各学校では？

(学校教育課長)

持ち帰りを行っているところはあります。端末中にはA Iドリルではないですが、学ぶためのアプリケーションは入っています。例えば單元ごとの動画が入っていて、学校ではもちろん先生が説明してくれるし、教えてくれるんだけど、その動画を見て、基本的な問題をいくつか解くというような、関連したアプリケーションを活用するのは十分効果があるのではないかなと思っています。そういったことで今回の夏期休業中も、モデル校以外にも、持ち帰って学習に利用する取り組みをされたところがあります。まだ新学期が始まったところですので、どういう状況であったのか、子ども達に何か変容が見られたのかというようなところについてはまた聞いてみたいと思います。

(委員)

有効であるならば、指定校以外でもどんどん活用していく必要があると思います。

## 6. その他

- 1) 第3回学校訪問について
- 2) A L T紹介

☆次回定例会：9月28日（水）

## 7. 閉会宣言

教育長が午後4時20分閉会を宣言し、8月定例委員会の日程を終了した。